

平成26年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月14日

上場取引所 東

上場会社名 ルーデン・ホールディングス(株)

コード番号 1400 URL <http://www.ruden.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西岡 孝

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐々木 悟

TEL 03-5332-5374

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第1四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第1四半期	694	19.5	90	8.5	90	10.0	86	23.6
25年12月期第1四半期	581	△31.4	83	7.8	82	31.5	70	31.9

(注) 包括利益 26年12月期第1四半期 86百万円 (23.4%) 25年12月期第1四半期 70百万円 (32.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第1四半期	8.65	8.46
25年12月期第1四半期	7.68	—

(注) 当社は、平成26年3月25日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年12月期第1四半期	1,858		1,581		84.1	
25年12月期	1,725		1,485		85.6	

(参考) 自己資本 26年12月期第1四半期 1,562百万円 25年12月期 1,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—				
26年12月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,400	35.2	82	△3.2	81	△3.0	62	20.9	6.26
通期	3,000	3.3	225	102.8	224	103.4	186	△28.4	18.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成26年3月25日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当該株式分割後の発行済株式数(自己株式数を除く)により算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期1Q	10,011,300 株	25年12月期	10,011,300 株
② 期末自己株式数	26年12月期1Q	200 株	25年12月期	200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期1Q	10,011,100 株	25年12月期1Q	9,116,656 株

(注) 当社は、平成26年3月25日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府経済対策の効果を背景に、企業収益の改善や個人消費の持ち直し等、緩やかな回復基調がみられたものの、海外景気の下振れや消費増税に伴う駆け込み需要の反動懸念等依然として先行き不透明な状況が続いております。

一方、当社グループの既存事業と密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場におきましては、平成26年の年間供給が5.6万戸（前年並み）と予想（民間調査機関調べ）され、当第1四半期連結累計期間において順調に推移いたしました。

このような状況のなか、マンションディベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高694百万円（前年同期比19.5%増）、営業利益90百万円（同8.5%増）、経常利益90百万円（同10.0%増）、四半期純利益86百万円（同23.6%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ハウスクエア事業

ハウスクエア事業に関しましては、密接に関連する新築マンション市場、特に首都圏マンション市場が比較的順調に推移したことや、マンションディベロッパー及び管理会社との取引関係のさらなる強化及び新規法人開拓の強化に注力したことなどにより、順調に推移いたしました。

以上により、当第1四半期連結累計期間におけるハウスクエア事業の業績は、売上高312百万円（前年同期比30.4%増）、営業利益91百万円（同43.8%増）となりました。

②ビル総合管理事業

ビル総合管理事業に関しましては、前連結会計年度に引き続き、営業体制の強化及び更なる顧客満足度の向上を図り、引き続き堅実な収益獲得を図ってまいりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間におけるビル総合管理事業の業績は、売上高252百万円（同4.4%増）、営業利益23百万円（同8.6%減）となりました。

③総合不動産事業

総合不動産事業に関しましては、所有土地の売却はあったものの、継続的に販売可能な物件の仕入れに苦戦しており、厳しい状況で推移いたしました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における総合不動産事業の業績は、売上高129百万円（同29.8%増）、営業利益18百万円（同42.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,634百万円となり、前連結会計年度末に比べ135百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が64百万円、販売用不動産が179百万円増加したことなどによる一方、現金及び預金が96百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総資産は1,858百万円となり、前連結会計年度末に比べ133百万円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は254百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が22百万円、未払金が17百万円増加したことなどによる一方、未払法人税等が6百万円減少したことなどによるものであります。

この結果、総負債は277百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,581百万円となり、前連結会計年度末に比べ95百万円増加いたしました。これは主に四半期純利益86百万円及び新株予約権が9百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は84.1%（前連結会計年度末は85.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年2月13日の「平成25年12月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	477,009	380,943
受取手形及び売掛金	203,943	268,871
商品及び製品	431	411
販売用不動産	69,773	248,825
原材料及び貯蔵品	2,356	3,257
仕掛品	1,066	1,388
前渡金	179,191	179,797
短期貸付金	474,484	474,364
未収入金	131,468	127,320
その他	14,293	9,738
貸倒引当金	△54,433	△60,284
流動資産合計	1,499,584	1,634,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	88,866	88,866
減価償却累計額及び減損損失累計額	△75,435	△75,591
建物及び構築物(純額)	13,430	13,274
機械装置及び運搬具	1,696	1,696
減価償却累計額及び減損損失累計額	△1,696	△1,696
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	17,495	17,495
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,435	△16,539
工具、器具及び備品(純額)	1,059	955
土地	3,248	3,248
リース資産	13,622	17,322
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,547	△7,352
リース資産(純額)	7,075	9,970
有形固定資産合計	24,813	27,449
無形固定資産		
のれん	23,310	20,621
その他	403	403
無形固定資産合計	23,714	21,025
投資その他の資産		
投資有価証券	30,114	30,176
出資金	82,181	82,181
破産更生債権等	620,838	622,693
その他	92,930	91,253
貸倒引当金	△621,001	△622,832
投資損失引当金	△27,713	△27,713
投資その他の資産合計	177,348	175,757
固定資産合計	225,876	224,232
資産合計	1,725,460	1,858,866

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,580	40,227
未払金	140,329	157,822
未払法人税等	24,518	18,180
預り金	7,624	4,979
賞与引当金	—	2,800
売上値引引当金	326	350
アフターコスト引当金	703	810
その他	28,622	29,663
流動負債合計	219,704	254,833
固定負債		
退職給付引当金	5,149	5,320
その他	14,973	17,364
固定負債合計	20,122	22,685
負債合計	239,827	277,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,782,061	1,782,061
資本剰余金	314,414	314,414
利益剰余金	△619,725	△533,124
自己株式	△290	△290
株主資本	1,476,459	1,563,061
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△152	△98
その他の包括利益累計額合計	△152	△98
新株予約権	9,326	18,384
純資産合計	1,485,633	1,581,348
負債純資産合計	1,725,460	1,858,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	581,110	694,346
売上原価	295,798	368,716
売上総利益	285,311	325,630
販売費及び一般管理費	201,689	234,937
営業利益	83,622	90,692
営業外収益		
受取利息	5,857	5,858
その他	1,102	1,322
営業外収益合計	6,959	7,180
営業外費用		
支払利息	92	86
貸倒引当金繰入額	5,848	5,848
消費税控除対象外	934	935
その他	1,131	180
営業外費用合計	8,006	7,050
経常利益	82,575	90,822
特別利益		
違約手数料戻入益	-	12,837
特別利益合計	-	12,837
税金等調整前四半期純利益	82,575	103,659
法人税、住民税及び事業税	12,893	16,942
法人税等調整額	△376	115
法人税等合計	12,517	17,057
少数株主損益調整前四半期純利益	70,058	86,601
四半期純利益	70,058	86,601

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,058	86,601
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	161	54
その他の包括利益合計	161	54
四半期包括利益	70,219	86,656
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,219	86,656

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ハウスケア 事業	ビル総合管理 事業	総合不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	239,222	241,887	100,000	581,110	—	581,110
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	239,222	241,887	100,000	581,110	—	581,110
セグメント利益	63,384	25,315	32,580	121,280	△37,658	83,622

(注) 1. セグメント利益の調整額△37,658千円には、のれん償却額△2,689千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△34,968千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ハウスケア 事業	ビル総合管理 事業	総合不動産 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	312,045	252,500	129,800	694,346	—	694,346
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	312,045	252,500	129,800	694,346	—	694,346
セグメント利益	91,145	23,142	18,893	133,181	△42,489	90,692

(注) 1. セグメント利益の調整額△42,489千円には、のれん償却額△2,689千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△39,799千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。